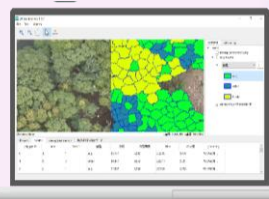




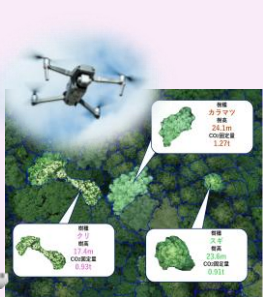
DX / GX (GX分野)

DeepForestTechnologies 株式会社

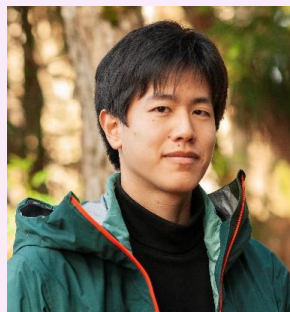
京都府京都市



DF Scanner



ドローンによる計測



大西代表取締役

事業者名 DeepForest Technologies株式会社

代表者 代表取締役 大西 信徳

所在地 京都府京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99番地 四条SETビル6階

設立 2022年

従業員数 30名

URL <https://deepforest-tech.co.jp/>

(2025年12月1日現在)

受賞分野 > GX分野

取組内容 > ドローンとAIで、森の価値を「見える化」する。森林DXが切り拓く、生物多様性とカーボンニュートラルの未来

事業概要

世界の森林管理を変える、リモートセンシング×AI技術。ドローンによるレーザー測量や写真測量データを独自開発のAIで解析するソフトウェア「DF Scanner」などを提供している。これまで手作業による現地調査に頼っていた森林調査をDX化し、圧倒的な効率化を実現した。日本の複雑な地形や植生にも対応できる高い解析精度を強みに、自治体、森林組合、民間企業などへサービスを展開している。課題であったカーボンクレジット計測コストの低廉化、次世代の森林評価を実現している。京都商工会議所「京都・知恵アントレ大賞2024」優秀賞、京都信用金庫「第11回 京信・地域の起業家アワード」優秀賞など、京都・関西の金融機関・産業支援機関等からスタートアップに関する表彰・認定制度を数多く受賞している。

取組内容

森林解析技術で、カーボンクレジットの信頼性を担保。京都大学発のスタートアップとして、ドローンで撮影したデータから樹木一本一本を識別するAI技術を開発している。広大な森林の樹種、樹高、幹の直径などを高精度かつ低コストで解析することを可能にした。この技術により、森林が吸収するCO2量を正確に算定し、信頼性の高いカーボンクレジット（J-クレジット等）の創出を支援。森林保全と経済活動を両立させるGXソリューションを提供している。

計測コストの低廉化

企業に環境保全やカーボンニュートラルに対する取組みが求められ、カーボンクレジットの創出・取引が必要とされるが、森林由来のカーボンクレジットは計測コストが高いため、その取引による登録数が伸びていない問題があった。その問題に対し、ドローンで撮影したデータからAIを用いて森林の樹木を識別し、カーボンクレジットを創出するソフトウェアが開発・提供し、計測コストを1/5～1/10程度に抑えている。

企業によるGXの促進

ドローンデータからAIを用いて森林の樹木を識別する技術は、世界に先駆けて開発されたものであり、針葉樹林だけでなく広葉樹林でも識別が可能。その強みを活かしカーボンクレジットだけでなく、森林の多様性の評価を行いネイチャーポジティブ（自然再興）を目指す企業のESG経営を促進している。

持続可能な森林経営

ドローンによるレーザー測量や写真データを独自開発のAIで解析するソフトウェア「DF Scanner」などを提供し、森林の樹種や本数、木材としての量を定量的に把握することで、木材生産に適した森林や残すべき木をデータに基づいて選定し、効率的かつ環境に配慮したスマート林業の実現に貢献している。